

クロアチア情勢

主な出来事

2018年7月

内政

- 2日、人口再活性化委員会が開催され、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びムルガニッチ人口・家族・青年・社会政策相が出席。
- 4日、大統領府経済担当顧問にプリモラツ・ザグレブ大学助教授が任命。
- 6日、議会は、選挙制度の変更及び少数民族枠議員の権限の変更を求めた市民団体「市民の決断」並びにイスタンブール条約批准の取消しを求めた市民団体「イスタンブール条約の真実」がそれぞれ提出した国民投票の実施を求める集められた署名の検証を政府に要求。
- 16日、ザグレブにおいて、約50万人の観衆が集まったFIFAワールドカップ・ロシア大会後のクロアチア代表選手による凱旋パレード及び歓迎イベントがザグレブ市及び当国サッカー協会の主催によって開催。

外交

- 1日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、テル・アビブで開催されたイスラエル防衛産業会議に出席。2日、イスラエル空軍基地を視察し、同軍司令官と会談。3日、リブリン・イスラエル大統領及びリーベルマン・イスラエル国防相と会談。
- 3日、ソールベルグ・ノルウェー首相が当国を訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。
- 5日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スロベニアにおいて、パホル・スロベニア大統領及びファン・デア・ベレン・オーストリア大統領との第5回3カ国会談に出席。
- 6－7日、プレンコビッチ首相は、ソフィアにおいて開催された第7回「16＋1」首脳会合に出席。6日、同首相は、李克強・中国首相と会談し、2019年の首脳会合をクロアチアが開催国となることについて合意。
- 7日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ソチにおいて、メドヴェージェフ・ロシア首相と会談。
- 9日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、当国を訪問した張宗言・中国中鉄株有限公司CEO率いる代表団と会談。
- 9－10日、プレンコビッチ首相、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相及びボジノビッチ内務相は、ロンドンで開催されたEU・西バルカン首脳会合、外相会合及び内相会合にそれぞれ出席。

- 11－12日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブリュッセルで開催されたNATO首脳会合に出席。
- 12－13日、マティス米国防長官が当国を訪問し、12日、プレンコビッチ首相と会談。13日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びクルスティチェビッチ副首相兼国防相と、それぞれ会談。
- 15日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、FIFAワールドカップ・ロシア大会決勝戦出席のためモスクワを訪問し、プーチン・ロシア大統領と会談。
- 16日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたEU外相会合に出席。
- 18－20日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、アルバニアを訪問し、18日にメタ・アルバニア大統領と、19日、ラマ・アルバニア首相と、それぞれ会談。
- 20日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、モンテネグロのブドバで開催された第3回アドリア海3か国イニシアティブ外相会合(クロアチア・モンテネグロ・アルバニア)に出席。
- 23日、ヴァラッカー・アイルランド首相が当国を訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領及びプレンコビッチ首相と会談。
- 24日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、当国を訪問したクナイスル・オーストリア外相と会談。
- 24－25日、リブリン・イスラエル大統領は当国を訪問し、24日、グラバル＝キタロビッチ大統領と、プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長と、それぞれ会談。25日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びリブリン大統領は、ヤセノバツ強制収容所記念館を訪問。
- 25日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ザグレブにおいて、チョービッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ大統領評議会メンバーと会談。

経済

- 4日、クロアチア政府観光局は、2018年上半期の観光統計を公表。クロアチアを訪問した外国人観光客数は550万人となり、前年同期比12%の増加。
- 4日、ザグレブ商業裁判所は、アグロコル社の事業再編に向けた和解協定案に関する、全債権者による法定ヒアリング及び最終投票を実施。投票の結果、全債権者の80.2%の賛成により、同協定案は採択。
- 5日、民間マーケティング会社 Promocija Plus は、2018年上半期の自動車販売台数を公表。新車販売台数は38,229台で前年同期比18.9%増。今年1月に導入された自動車関連減税による効果と分析。
- 6日、信用格付会社フィッチ・レーティングスは、クロアチアの信用格付を公表。長期外貨建て発行体デフォルト格付を「BB+」に据え置く一方、将来見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引上げ。

- 6日、クロアチア議会は、債務不履行等により銀行口座を差し押さえられた市民を救済するための関連法案(国及び国営企業に対する債務の免除、現金資産の差押えの制限、破産手続きの簡素化等)を可決。
- 6日、クロアチア航空の労働組合は、プレンコビッチ首相との会談後、予定していたストライキを延期すると発表。
- 12日、欧州委員会は、夏の経済見通しを公表。クロアチアの2018年の経済成長率は2.6%と、春の見通し(2.8%)から下方修正。
- 13日、クロアチア議会は、クロアチア国立銀行の次期総裁について、ボリス・ブイッチ現総裁を再任する人事を賛成多数で承認。任期は2024年まで。
- 13日、クロアチア政府は、経営危機にあるウリヤニク造船所の事業再建計画案を欧州委員会に提出。
- 19日、欧州委員会は、INA民営化法の是正を巡るクロアチアに対する訴訟手続きを保留することを決定。欧州委員会は、同法においてクロアチア政府に与えられる特別な権限(株式や資産の売却に関するINA社の決定を拒否する権利等)については是正を求めており、クロアチア政府が同法の改正案を公表したことを受けた措置。
- 21日、市民が保有する債務の免除に関する法律が施行。国及び国営企業に対して1万クーナ以上の負債を抱え、昨年12月末時点で銀行口座が凍結されている市民の債務を免除(総額約13.8億クーナ、対象者約15万人)。
- 24日、クロアチア電力公社は、ザグレブ市の熱電併給施設の増設事業について、欧州復興開発銀行及び欧州投資銀行との融資契約に署名。融資総額は130百万ユーロ。
- 24日、LNGクロアチア社は、LNGターミナル建設事業を巡るFERU船(浮体式貯蔵再ガス化設備船舶)の調達管理主体の選定に係る入札について、本年6月に実施した入札手続きを無効とするとともに、8月24日を締切とする新たな入札の実施を発表。
- 26日、クロアチア統計局は、雇用統計を公表。6月の失業率は8.8%と、前月(9.2%)から低下。
- 26日、クロアチア政府は、地域開発を促進するための関連法案を閣議決定し、クロアチア議会に提出。2017～2019年の3年間で総額13億クーナの関連予算を確保する方針。
- 30日、クロアチア道路公社と中国路橋工程有限公司は、ペリエシャツ橋建設事業に係る書類の署名・引渡しを行い、正式に着工を開始したことを発表。

主要経済指標

(2018年月次データ, 政府統計局発表)

輸出総額(5月)	輸入総額(5月)	貿易赤字(5月)	工業生産高(6月) 対前年同月比	インフレ率(6月) 対前年同月比	失業率(登録制)(6月)
422. 8億クーナ 56. 8億ユーロ (1. 6%)	709. 2億クーナ 95. 2億ユーロ (5. 2%)	286. 4億クーナ 38. 4億ユーロ (11. 0%)	3. 1% (5月: -0. 7%)	2. 4% (5月: +1. 9%)	8. 8% (5月: 9. 2%)

※輸出総額, 輸入総額, 貿易赤字の括弧内の数字は, 対前年同月比。

本クロアチア情勢は, クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道, 発表をとりまとめたものです
ので, 記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく, 特定の団体・個人
の利益を代表するものではありません。